

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年2月22日

公表: 令和6年2月29日

事業所名 発達支援BOXらじおぼ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		子供さんの個性やコンディション、感染状況等に応じて、1階の大部屋と小部屋、2階の使い分けを行っています。	様々な状況に応じて、各部屋の特徴を活かし、活動の幅・対人交流の場を広げられるように継続してとり組んで参ります。
	2 職員の配置数は適切である		7	各専門職を配置し、様々な側面から支援できるよう工夫しております。	この点につきましては、この先も満足することはない部分化と思います。近年、スタッフの結婚退職も多く、皆様にご不便をおかけしないよう早急な充足に努めております。今後も、さらに様々な特技や情熱を持った職員の増員ができればと考えております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		導線は、可能な限りバリアフリーにしておりますが、あえて一部バリアフリーにし、リハビリの一環として活用しています。	都度、気づいた・感じた点を改善するようにしております。お子供達にとって、より分かりやすい・安心して活動できる場になっているかを定期的に振り返りながらとり組んで参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		施設内や遊具、おもちゃ等、毎日の午前・午後の清掃・消毒や空間除菌等、感染症対策を綿密に行っております。また、ご利用されるお子さんの個性を引き出せるような遊具等を配置するよう心がけております。	新型コロナやインフルエンザ、溶連菌や胃腸炎など、様々な感染症が年中出ている現状です。職員一丸となって感染症対策の徹底を継続して図っていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3	都度会議を実施し、その子にあった目標・関わりを心がけています。	少しずつ職員がPDCAサイクルを考慮した関りが可能となってきております。現状に満足せず、とり組んで参ります。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		アンケートにより、意向確認を行っており、昨年度頂いたご意見より課題を抽出し、今年度いくつかを解決することができました。	まだ解決できていない点と、今年度新たに見えた点を、来年度中には解決できるように取り組んで参ります。一度に解決できないこともあります。一つずつ着実に実施していければと思っております。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		毎年評価を実施し、ホームページ上で公開して参ります。	今年は82%の回収率でした。これに限らず、日々支援の質等、気になる部分があれば見直していきたいと思っております。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		なかなか活用までには至っておりませんが、状況に応じて第三者評価の活用も検討していきたいと思っております。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	5	内部研修は時間を見ながら実施しておりますが、外部研修へ積極的に参加してもらうには至っておりません。	スタッフのもっと学びたい意欲を感じますので、感染状況を見ながら、職員の知識・技術・経験に合わせて、内外部の研修等への参加を検討していきます。特に、ZOOM等で参加できる研修には、より積極的に参加していければと思っております。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		相談支援専門員、園や医療機関等との連携を図り、お子さんや保護者様との情報交換を通して得られたニーズを分析し、計画の作成を行っています。	様々な情報を基に、お子さんの主な課題に対する支援を保護者の皆様と一緒に考えていきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	5	事業所内で統一したアセスメントツールを活用していますが、実施困難な詳細な内容については、外部の情報共有させて頂いております。	アセスメントツールは、使用しているソフト間でも異なるため、何をいえるか難しい課題です。現在の書式を見直しながら、使用を継続し、職員の共通理解を深めていきたいと考えております。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		ガイドラインに示してある項目を参考にしながら実施しております。	「ガイドライン」に基づく考え方や具体的な支援の方法等については、当たり前のように取り組んでおります。より具体的な支援内容を設定していきたいと思っております。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		計画に沿った支援を実施しております。	その日の様子を見ながら、活動の種類や質を、さらに高められるよう取り組んでいきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	3	専門性を発揮しつつ、チームとしてプログラムを立案しております。	職種や経験等によって想起されるプログラムが異なってくるので、より総合的に、統一感のある関わりができるよう取り組んでいきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		子供さんの変化を見ながら、柔軟にプログラムを展開できるよう心がけております。	遊具やおもちゃなどを増やす、環境調整を図るなど、活動のバリエーションや幅を持たせることができるよう対応していきます。

16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している	7		お子供の状況に応じて、個別・集団活動を組み合わせ、計画を作成しております。	もう少し、いろいろな活動を展開できるよう取り組んでいきたいです。道具もよく壊れますので、都度修理や再購入などをしながら対応していきます。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2	基本的には朝の打ち合わせで情報を共有できるよう心がけています。	朝の打ち合わせや職員ノートを活用し、情報共有に努めて参ります。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	支援終了後、職員間で話し合い、気づいた点を共有しています。しかし、送迎に時間がかかる場合もあり、皆が参加できない難しさも感じます。	職員ノートを活用するなど、より効率的に情報共有できるよう、工夫して参ります。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		日々の支援に関する記録を徹底し、必ず目を通すようにしています。	分かりやすい文章表現の工夫など、短時間で内容の濃い記録を目指して取り組んで参ります。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		定期的にモニタリングを実施し、必要に応じて計画の見直しをしています。	漏れのないよう、期間の把握等をしっかりしていきたいと思っています。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2	参加依頼があった際には、必ずスタッフの誰かが参加するようにしています。	今後も、会議には可能な限り担当者が出席していきたいと思っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2	各関係機関と連携し、支援を行っています。	面談やデジタルツールを活用するなど、より密に連携して支援できるよう、心がけていきたいと思っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	1	主治医からの指示を始め、各関係機関の方々と確認をしながら、支援させて頂いております。	上記と同様に、まだまだ連携の不足を感じております。より密に連携できるよう努めて参ります。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7		電話・メール・訪問・文書等の手段を活用しながら、主治医等と連携し、支援させて頂いております。	上記と同様に、まだまだ連携の不足を感じているので、より密にしていければと思っています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	移行支援の経験は少ない状況ですが、当該事例があった場合には、都度対応させて頂いております。	今後、より一層の連携を深めていくことができるよう、働きかけていきたいと思っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	支援内容等の情報共有・共通理解を図っています。	上記と同様に、まだまだ連携の不足を感じております。より密にしていければと思っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4	医ケア児さん以外は、なかなか機会が少ない現状です。	状況等を見ながら、またお子さんの状況等に応じて研修等への参加を検討したり連携したりしていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		保護者様の多くは、感染症のリスクから望まない意見が多いので、今までは実施しておりません。今後は状況を見ながら、状況に合わせて対応していきたいと思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		7	参加する機会・調整ができた場合は、参加しています。	お話を頂いた際には、出席したいと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時や連絡帳、活動時の写真等を活用し、子供さんの状況や課題等についての相互理解を深めています。	面談の機会も多くはないので、もっとじっくりと話し合う機会を設けていきたいと感じております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	5	子供さんに合わせた関わり方等の提案・助言をさせて頂いております。	まだまだ不十分と感じています。相談会や参観日の開催等、検討して参ります。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に、説明させて頂いておりますし、いつでも閲覧可能な状況としております。	限りのある時間の中ではございますが、継続して、わかりやすい説明を心掛けて参ります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		計画に基づきながら内容を説明し、保護者様より同意を得ています。	上記と同様です。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		悩み等に対し、臨機応変に対応させて頂いております。	都度、対応させて頂いております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		父母の会が負担になると結成を望まない保護者様が多くいらっしゃいますので、状況を見ながら対応していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		契約時に、相談・苦情対応窓口を説明しております。また、マニュアルを整備し、対応できるようにしております。また、都度相談に応じることができるようになっております。	今後も継続し、都度、電話や面談などを実施して参ります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		7	会報は発行していませんが、都度、利用の内容をお伝えしております。	限りある時間の中、定期的な会報の発行は難しく、伝えきれない部分も多くあると感じております。情報発信の方法を検討していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		契約時に、個人情報の取扱いについて説明しております。スタッフにも徹底しております。	職員への周知も、徹底して参ります。退職者にも、個人情報を漏えいする事がないよう、誓約書を説明し署名してもらっております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		個々のお子供さんにとって、意志疎通しやすい方法を検討し、導入しております。	少しずつではありますが、ツールが増えて多様に感じています。今後も様々なツールを検討・導入していきたいと思っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6	今年度も地域の皆様を招待する行事を計画できずしております。	感染症状況にも注意しながら、声掛けは行っていきたいと思っています。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	3	マニュアルは作成し、都度、訓練を実施しております。保護者様への周知は不十分さを感じています。	マニュアル通りに確実に行動できるとは言えません。くりかえし訓練し、項でできるようにしていきます。また、随時マニュアルを見直していきたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		7	最低でも半年に1回、子供さん達と一緒に、避難訓練を行っております。	これまで考えていなかった水害被害等、より具体的な災害を想像する必要性を感じています。感染症対策を徹底しつつ、継続して実施していきたいと思います。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		事前に、服薬状況等を把握し、看護師を中心に対応させて頂いております。また、途中での変更がないか、都度確認しています。	お薬の変更がないかなど、こちら側からも積極的にお声がけしていきたいと思います。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	アセスメントやモニタリング時等で、保護者様より教えて頂いております。	その内容を厳守し、対応させて頂いておりますが、医師の指示となると、不明なお子様もいるため、確実にしていくためにも確認を徹底するようにしていきたいと思ます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハット事例集はあり、事業所内で共有しております。	なぜ生じたのか、繰り返さないためにどうするかなど、全職員で情報を共有し意見交換していきたいと思います。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	3	虐待に対する研修会参加を促しております。また、報道の内容などもを共有し、随時学びを深めています。	マニュアルを見直し、打合せ時や研修を通して、職員への周知徹底を図っていきます。最終的には管理者が動くことが多いので、他の職員も行動できるよう学んで参ります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	3	現在、身体拘束は行っておりません。	研修の実施や法人内の取り決めはありますが、当該事例に遭遇していないため、計画への記載はありません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。